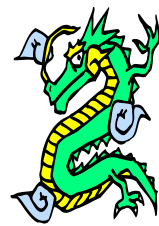


コミしんまつやま

第6号（平成24年1月16日発行）
発行：松山地区コミュニティ振興会
連絡協議会
住所：酒田市字山田20-1
電話：0234-61-4365

年頭あいさつ



会長
阿部 茂

がまん強く頑張ろう

龍年明けましておめでとうございませう。昨年大きな震災は、今年もいろいろな面に影響が出ると思いますが、少しでも明るい話題に転化できることを祈念したいと思っております。

新年度の松山コミ振連絡協議会も、明るい話題を求めて前向きに頑張りたい。

まず、酒田市民体育祭の成績は昨年十二位。入賞まであともう一步。特に女子の団体競技の頑張りに期待したい。次に巡回駅伝は去年十位。参加一年目は優勝しているので、なんとか頑張って優勝を目指してほしい。第三は、職員研修で訪問した村上高根地区。なんとか「ひまわり」満開時に再度訪問したい。

皆様の力を借りて、がまん強く頑張りたいので、よろしくお願ひ申し上げます。

村上市へ 視察研修に行きました

昨年十一月十八日、松山地区内のコミュニティ振興会の役員、事務局で視察研修を行いました。研修先は、新潟県村上市（旧朝日村）で地域活性化活動を展開している「高根フロンティアクラブ」です。

高根地区は、世帯数一七五、人口約六八〇人で、家が分散せずに一つにまとまっている山際の地域で、松山では山寺地区に近い形です。昔は林業、農業が盛んでしたが、現在は若い人はほとんどが村上市などへ勤めにでています。

十五年前に地域の三十代〜四十代の有志が「地域を盛り上げよう」と集まり、フロンティアクラブ

を設立。以後、高原にヒマワリを咲かせる活動やサマーフェスティバル、スノーフェスティバル、新そばまつりなど、地域の自然を生かして人を呼び込むイベントなどを手掛けています。

また、東京の大学とも連携するなど活動の幅を広げています。縁もあり、現在はキャンオンやTOTOの企業の森ができるなど、活動の効果は非常に大きなものになっています。

地区の小学校の廃校を機に、学校跡地を使った農家レストラン※を八年前に開業しました。レストランの開業資金の半分は県の補助金、半分は地域住民の寄付で賄いました。週末のみの営業ながら、今では年間三千人が訪れる人気スポットになっています。新潟市などからのリピーターが多いのですが、確かにまた来たくくなるような、ひと・自然・地域の魅力が感じられるところでした。

また、「自分たちが出来ることは自分たちでやる」という姿勢を貫いており、視察日にもメンバーの大工さんが校舎の補修作業をする姿がありました。

この高根地区は、外部との交流・親睦を通して自分たちも成長しながら、地域も活性化していくといういいサイクルができています。素晴らしい地域でした。地理的条件としては松山地区より恵まれていない場所でしたが、やる気と努力とアイデア次第で地域おこしができることを教えていただき、これからの松山地区の振興を考えていくうえで、とても参考になった視察研修でした。



※山のおいしさ学校 食堂 IRORI
人気メニュー そば定食 1,200円